

平成30年度函館市節電チャレンジモニター集計結果

1 節電効果（家全体の電気使用量）

モニター期間中の1ヶ月間の電気使用量の合計を前年度と比較したところ、節電効果は、使用量106kWh、料金3,150円、CO2排出量71kg-CO2であった。

1世帯あたりの平均では、使用量12kWh、料金357円、CO2排出量8kg-CO2、削減率4.5%となり、この取組みを1年間継続すると、使用量144kWh、料金4,284円、CO2排出量96kg-CO2の節電効果が期待できる。

	電気使用量実績値		節電効果			平均削減率 (%)
	H30年度 (kWh)	H29年度 (kWh)	使用量 (kWh)	料金 ※1 (円)	CO2排出量 ※2 (kg-CO2)	
	合計 (A)	合計 (B)	差 (B-A)			
第1期	1,057	1,140	83	2,467	55	5.0
第2期	2,129	2,152	23	684	15	3.9
合計	3,186	3,292	106	3,150	71	
平均※3	354	366	12	357	8	4.5

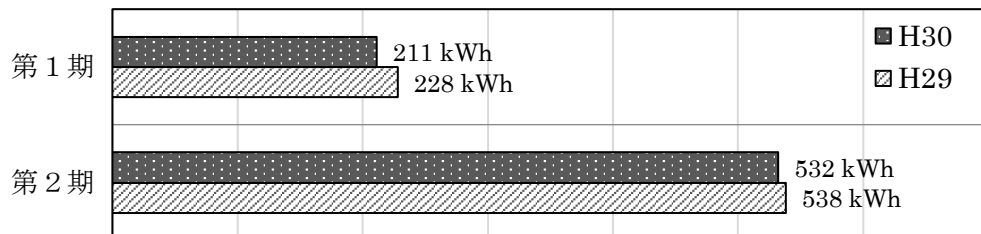
※1：料金の積算は、北海道電力の従量電灯電力量料金の120kWh・280kWhまでの1kWh=29.72円を用いた。

※2：CO2削減量の積算は、北海道電力の最新(集計時)の実排出係数1kWh=0.666kg-CO2を用いた。

※3：集計対象とした9世帯の平均

※端数処理の関係で合計が一致しないことがある。

電気使用量（平均）



主な節電行動（参加世帯が実践した主な節電の取組み）

主な節電行動	取組み世帯数		
	第1期	第2期	合計
照明の点灯時間を短くする	4	4	8
待機電力の削減する	5	3	8
テレビを見ていない時は消す	1	5	6
家族で同じ部屋で過ごす。	0	3	3
省エネタイプ家電(照明等)に交換する	0	2	2
暖房の設定温度を低めにする	0	2	2
冷蔵庫の無駄な開閉はしない	1	0	1
扇風機の運転時間を短くする。	1	0	1
エアコンの運転時間を短くする。	1	0	1
エアコンの設置温度を上げる	1	0	1
照明の明るさ調節する	1	0	1
テレビを見る時間を減らす	1	0	1
就寝時間を早める	1	0	1

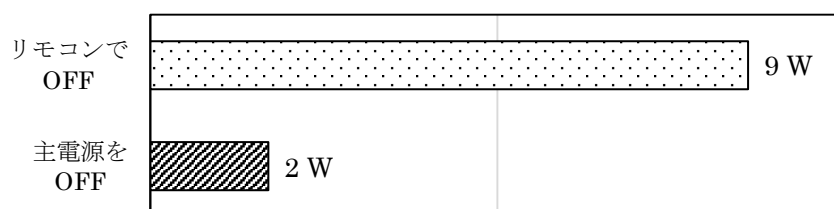
2 主な家電製品の消費電力

節電の参考とするため、主な家電製品の待機時と使用時の消費電力を、家電製品型電力測定器で測定してもらったところ、測定結果は次のとおりとなった。

待機時の電力（平均）

テレビの待機電力は、リモコンで OFF にするより主電源を OFF にした方が、平均で約7W 消費電力が少ない結果となり、外出時や就寝時等の長時間使用しない時間帯は、主電源を OFF にすることで節電効果が期待できる。ただし、消費電力がほぼ同じ結果となる場合もあり、機種によっては違いが生じない場合もある。

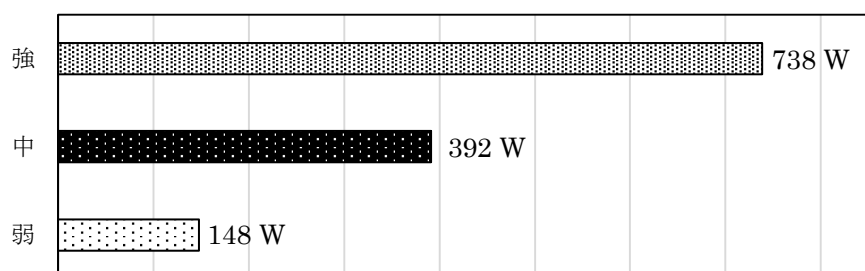
取組品目	取組台数	リモコンで OFF (W)	主電源を OFF (W)	待機電力の差 (W)
テレビ	12	9	2	7



使用時の電力（平均）

掃除機の使用時の電力は、強さによって消費電力が大きく異なる結果となり、必要に応じて強さを調節することで、節電効果が期待できる。

取組品目	取組台数	強さ：強 (W)	強さ：中 (W)	強さ：弱 (W)
掃除機	8	738	392	148



3 意識して取り組んだ省エネ行動や感想

- コンセントをこまめにはずすよう心掛けました。
- 待機電力の消費量が意外に多いことに驚きました。
- エアコンはつけたままにしておいた方が電力消費が少ないとわかりました。

- 一番、電気代が高いのは除湿機でした。(2004年製)
エアコンは、思ったより安いので驚きました。逆に扇風機の方が高かったです。もっと節電したいです。他の家庭では50Aで12,000円と聞いて驚きました。
- 室内が夜でも28℃以下にならないと眠れないので扇風機の使用回数が増えた。また、起きている時間も長くなってしまい照明をつける時間も増えた。よって節電できていない。
- 家族がそれぞれに省エネを意識することで、昨年度よりかなり使用量が下がったと思います。
- 今後も省エネを意識した生活をしていきたいと思います。良い機会をありがとうございました。
- 今回の地震で電気との向き合い方を考える。計画停電の必要性。
- 自分が思っている以上に電気を使用しており、省エネとはほど遠い結果となってしまいました。コンセントの抜き差しよりも、根本的に改善できる行動をしなければならぬと感じました。(洗濯の回数を減らす、除湿機の稼働時間を減らす等)
- 今後も継続して省エネに取り組みたいと思います。
- もともと省エネ意識は高く持っていたので、大幅な削減は厳しいと感じましたが、モニターをしていてアンペア数を減らしても十分生活できることが分かり20Aに変更した。
- 普段、あまり節電を考えていなかったが、今回を機に出来る限り無駄を省き、少しでも温暖化、省エネに努めようと思いました。
- こまめにコンセントを抜き、電力量のワットモニターを気にして節電することが多かった。
- 使っていない電源は切ったり、なるべくみんなで同じ部屋で過ごすなど意識的に取り組みました。
- 今までは気にせず使っていたが、今後は意識して取り組んでいこうと思います。
- 暖房が必要なため、その分電気代がかかるため夏がいいですね。
- わりと廊下の照明や使っていない部屋の照明の消し忘れが多いので、意識して消すようにしました。
- 節電に取り組んだが、新たに購入したオイルヒーターが電力を使い増えてしまった。また、昨年は、1人入院していた事も影響した。
- 親子でとっても楽しく節電に取り組みました。

- 廊下、トイレの白熱電球を電球型 LED ランプに交換した。
- 省エネ・節電の意識を持つことができた。
- 年末の子供の冬休み等、普段より家にいる時間が長い分使う電力も増えているような気がした。
- 少しは節電できたのではないかと思う。
- 冬の我が家はコシモ発電があるため、電気代は安くなるため、あまり今まで節電を意識していませんでした。
- 冬は常に使う加湿器も未使用の時はコンセントを抜いた方が良いことが分かり、抜くようにしました。
- なるべくリビング以外の電気は使わない。使わない時は消す。
- 5月に函館に引越して来ました。今回の家はIHヒーターで電気代が上がりました。家族が1人増えたこともあり、昨年とは違う家で、日中は仕事をやめたこともあり、家にいることが多くなりました。何が原因で電気代が上がったのか知る機会となり勉強になりました。

【モニター実施概要】

- 1 モニター期間 第1期： 7月1日（日）～8月31日（金）
 第2期：12月1日（土）～1月31日（木）
- 2 モニター実施世帯数 19世帯（第1期9世帯、第2期10世帯）
- 3 モニター内容
 分電盤設置型（家全体）と家電製品型（家電製品毎）の2種類の電力測定器を利用して、家庭の電気使用量を「見える化」しながら節電に取り組んでもらい、モニター終了後にモニター期間の各月の電気使用量（電力会社の伝票で確認）および主な家電製品（テレビ、掃除機等）の電気使用量の測定結果等を報告してもらった。
- 4 集計方法
 各月の電気使用量については、前年度同月の使用量と比較を行うため、当該年および前年度の対象月電気使用量を確認できた9世帯を集計対象としており、新電力への切替で前年度電気使用量の確認ができないなどの理由で集計対象外となった世帯が多かった。